

# 令和3年 第12回米原市定例教育委員会

日 時：令和3年12月17日 午後3時30分開会  
場 所：米原市役所 コンベンションホール

(出席者)

教 育 長：馬淵教育長  
教 育 委 員：中川委員、本庄委員、膽吹委員、法戸委員、井口委員  
教 育 部：上村部長  
教 育 総 務 課：西村課長  
学 校 教 育 課：山口課長  
生 涯 学 習 課：梶田課長  
ス ポー ツ 推 進 課：花部課長  
学 校 給 食 課：藤田課長  
図 書 館：梶川館長  
書 記：奥村、中川

## 1 開 会

## 2 教育長挨拶

皆さんこんにちは。現在、旧伊吹町、山東町では非常に天候が荒れているとのことなので、今夜から雪が降るかもしれません。

12月11日に米原市役所のコンベンションホールでイングリッシュフェスを開催しました。小学校5、6年生の児童21人の参加があり、本市のネイティブスピーカー、米原高校のネイティブスピーカーと生徒が手伝いに来てくれました。非常に充実した時間を過ごしたと聞いておりますし、アンケート回答では「とても楽しかった。」「非常に良い経験になった。」などの感想もいただきました。去年は実施が出来ておりませんでした。今年にはコロナの状況も踏まえて開催ができて良かったと思います。

令和5年にこども家庭庁が開設予定とのこと。首相の直属機関とし、ほかの省庁への勧告権を持ちます。今後、文部科学省との兼ね合いが心配ですが、主に子どもの貧困、虐待、いじめなどを基本方針とされるのではないかと思います。

最近の子どもの状況については、本市でもSNS上のトラブルが発生しています。最近の特徴でもありますが、被害側の家庭が謝罪に応じないという状況が増えています。話は変わりますが、先日、給付型奨学金制度の案内で、長浜北高校と伊吹高校を訪問しました。米原高校については、校長先生が市役所内の市民活動スペースで学習している生

徒の様子を見学された際に、パンフレット等を持ち帰っていただきました。イングリッシュフェスのことなどお礼を兼ねて電話をさせていただいた際に、最近の高校生は生徒指導上の問題はほとんどないですが、教育相談が多いという話を聞きました。心が折れやすい子どもが増えてきており、若者言葉では「メンヘラ」という言葉があります。「メンタルヘルス」の略称で、精神面が弱い人に対して使われているようです。このことも踏まえて対応していかないといけませんし、メンタル面が弱くても、先ほどの被害側の家庭のように謝罪に応じないということがあるので、難しくなっていると感じました。

持続可能な開発目標「SDGs」という言葉がありますが、滋賀県では「MLGs（マザーレイクゴールズ）」という言葉があります。琵琶湖版の「SDGs」として、2030年の環境、経済、社会活動をつなぐ健全な循環の構築に向け、琵琶湖を切り口として13のゴールが設定されています。トップダウンではなく、様々な人の意見が積み重なっているようですので、滋賀県民にとって非常に良い取組であると感じました。今後、小中学校にも紹介していきたいと考えています。

様々な話をさせていただきましたが、本日もよろしく願いいたします。以上、開会に当たっての挨拶とさせていただきます。

### 3 会議録承認

令和3年第11回定例会議事録

### 4 所属長報告

#### (1) 教育総務課長

報告事項については、12月1日から令和4年2月28日まで給付型奨学金の申請受付を実施しています。12月6日に学校施設ほかで使用する電力の供給に係る入札がありました。また、12月2日から市議会令和3年第4回定例会が開催されています。市議会健康福祉教育常任委員会の教育に関する予算や議案については、12月14日に審議されました。

今後の予定については、12月24日に定期監査、令和4年1月21日に定例教育委員会をそれぞれ予定しています。

#### (2) 学校教育課長

報告事項については、11月16日、17日で市教委学校訪問を終了し、12月11日にイングリッシュフェスを開催しました。また、12月14日にいじめ問題専門委員会を実施しています。

今後の予定については、令和4年1月6日、7日、13日に人事異動一次ヒアリングを予定しています。

11月分事故・問題行動等については、いじめ認知事案が小学校で4件、中学校で9件の報告がありました。また、前回の定例教育委員会で意見のありました、問題行動や欠

席状況の件数報告については、単月ではなく年間で記載させていただきました。

教育センターの報告事項については、子ども美術展は図工美術と書写を分散した形で展示しました。

今後の予定については、令和4年2月16日に第17回教育研究発表大会を動画配信で実施予定です。

### (3) 生涯学習課長

報告事項については、人権講座、歴史講座など各種講座を開催しておりますが、順調に進めております。12月11日のケロポンズファミリーコンサートでは、満席という状態での講演となりました。今後予定しているコンサートについても多くの方にお越しいただけるよう願っております。

今後の予定については、令和4年1月9日に成人式を予定しております。昨年度同様に市民交流プラザを会場とし、伊吹・山東と米原・近江の2部制で開催します。今年度は437人が対象となっております。昨年は356人の参加をいただき、81.5%の参加率となっております。今年も多くの成人の方に参加をいただけるよう願っています。また、1月29日にルッチまちづくり公開講座を予定しています。NHK大河ドラマ「青天を衝け」で話題の渋沢栄一さんの曾孫である渋沢雅英さんを迎えて講演を予定しています。

### (4) 図書館長

報告事項については、12月5日にまいばら協働事業提案制度プレゼンテーションがありました。市民と市が協力して事業を行っていくものであり、今回、図書館ではボランティアグループ「まいばら本と人をつなぎ隊」から高齢者施設への団体貸出しによる読書支援について提案があり、プレゼンテーションを行いました。また、12月11日から24日までまいばら読書の日ポスター展をはにわ館で実施しています。子どもたちのイラストで作成したポスター12種類の展示と、学校司書と教職員のおすすめの本を掲載した「まい books」の配布を行いました。本日の資料には、子どもたちのイラストで作成したポスターを添付していますので御覧ください。

今後の予定については、クリスマスのイベントを両図書館で実施予定です。また、令和4年1月5日から31日まではにわ館で書の展示を予定しています。

### (5) スポーツ推進課長

報告事項については、11月20日、21日、27日、28日に第44回西日本小学生・中学生6人制ホッケー選手権大会が開催されました。小学生の部につきましては、春照スポーツ少年団の女子が優勝、男子が準優勝を収めたところです。また、12月11日にフライングディスク体験会が開催されました。市の社会福祉課の事業として、障がい者スポーツの体験を通じて2025年の国スポ・障スポ大会を見据えた手話ボランティア普及啓発を目的とされています。市のスポーツ推進員から4人が参加しました。

今後の予定については、本日、第76回三重とこわか国体・競技会事業概要説明会が開

催されておりますので、スポーツ推進課からも出席しております。

#### (6) 学校給食課長

報告事項については、11月30日に春照小学校、山東小学校3年生を対象に白ねぎ収穫体験を実施しました。

今後の予定については、令和4年1月24日から28日まで学校給食週間を予定しています。給食センターから栄養士が小学校2年生のクラスを訪問し、給食センターで使用している調理道具の紹介や衛生面で気を付けていることを子どもたちに伝えます。また、県の学校給食提供事業については、新型コロナウイルス感染拡大により価格、出荷量に影響が生じている湖魚等の消費拡大を活用した、醒井養鱒場のびわますフィレの無償提供を受け、1月28日の学校給食に使用します。また、滋賀県の畜産物学校給食提供事業の地鶏肉近江しゃもの無償提供を受け、1月26日の学校給食に使用します。2学期の給食は12月22日まで実施し、3学期の給食は1月11日から開始します。

#### 5 所属長に対する質疑

A委員： 事務局の皆様、御苦勞様です。前回の定例教育委員会で意見がありましたが、学校教育課の問題行動等の件数報告については年間の件数を記載していただいで大変見やすくなったと思います。欠席状況の全日欠席者数について、9月から10月に掛けて件数が大幅に減少していますが、原因を教えてください。

事務局： 減少した原因はわかりませんので、確認させていただきます。

B委員： 学校教育課のNo, 14の事案については、対処法が大変であると思います。また、周囲への子どもたちに被害がないか心配です。

C委員： 教育委員会の報告の中で子どもたちの様子が分かるのですが、No, 14の事案の児童についても、心に思いを抱えて学校に来ていると思います。他の事案でも、加害側の子どもたちの本心が先生や周りの関わっている者に対してしっかり伝わっているのかと思います。県から学校の環境や雰囲気づくりをするような呼び掛けもありましたが、どのような声掛けをしたら子どもたちが安心して学校に通って、勉強が頑張れるのか、声の掛け方で心の中が出せる雰囲気づくりが大事であると思っています。また、これから冬休みを迎えられますが、子どもたちが家に帰って安心して過ごせるように各学校で対応していただきたいと思っています。

図書室について、読み聞かせボランティアをしているので、良い本を子どもたちに選ぶことをすごく楽しみにしています。図書環境が良く、様々な取組や企画をされているので、是非色々な方が来ていただけるようにと思います。冬

休みの間もたくさんのお子どもたちが本を借りていただけたらと思いますので、お子どもたちに勧めさせていただいて嬉しい気持ちであります。

D委員： いじめについては、子ども間の問題に保護者が出てくることが多くなったと感じました。お子どもたちの本心では仲直りがしたいのに、保護者の都合で仲直りができないことがないか心配しています。アンケートについては、各学校で年に何回実施されていますか。また、学級として機能していない学級についてはどのような様子ですか。

西日本小中学生ホッケー選手権大会については、遠方からも参加されていますが、各チームが交通費を負担されていますか。

事務局： ホッケー大会については、遠方からの参加もありますが、基本的には参加者負担となっております。

事務局： アンケートについては、各学校で学期に1回実施しています。また、学級として機能していない学級については、問題行動等のいじめ認知事案にも報告が上がっています。見守りや指導を続けて、以前よりは授業が成り立っているとの報告も受けています。

E委員： 教育長の御挨拶にもありましたが、「メンヘラ」という言葉があるように気持ちを押し殺しているお子どもが増えているように感じます。以前、大東中学校へ学校訪問した際に、修学旅行の縮小についても反発せずに素直に受け入れて、気持ちを押し殺している生徒が多いと感じました。SNS上でのトラブルについても関係が複雑になっているので、あるきっかけで病んでしまって学校に行けないような事案は最近の実態であると思います。学校と家庭の間で見えない部分でトラブルが発生することは学校としても困ると思いますし、だからこそアンケートで問題が表に出てくるのが大事であると思います。前回もお話しましたが、成長していく過程で人間の多感な時期は、ホルモンの分泌で様々なことに対して感情が上下するのでトラブルが発生しやすいと思います。社会環境的に意見が言えないお子どもが多いのではないかと思うので、自分の意見を表すことができるお子どもが増えると良いと思います。アンケートを通じて見えることが多いと思いますので、今後も引き続き目をとおしていきたいと思います。

## 6 報告事項

### (1) 米原市給付型奨学金制度の改正について

【教育総務課】

(内容)

米原市給付型奨学金制度の趣旨としては、大学等への進学に必要な学資金を給付することにより、若者への修学を後押しし、市の将来を担う人材育成と修学後の市

内への定住促進を目的としています。

奨学金による専門人材確保に向けた取組として、人材が不足している社会福祉士や保育士などの専門職の人材を確保するため、令和4年度から重点職種として募集枠を新たに設け、将来、本市に住み働く専門職の人材を確保します。今までの4年間の給付決定者の内約2割の方が、保育・福祉・医療分野で学んでいる学生がいる現状です。

市で定めている収入基準額については、現在、日本学生支援機構の1.1倍としていますが、1.5倍へ引き上げを行うことで認定者拡大を図り、一人でも多くの、本市の将来を担う人材を確保していきます。

A委員： 専門職の募集枠については、令和4年度から設けられるということで、一般の大学等と重点職種の専門職等に分けて受付をされるということですか。

事務局： 申請受付時に、一般か重点職種を選択していただきます。

A委員： 制度の趣旨・目的を満たす者については変わらないと思いますが、募集人数は、今までの総枠の中で設計されるのか、枠組みを別にされるのか具体的に教えていただけないでしょうか。

事務局： 定員は40人で決定させていただいております。令和3年度では奨学生40人のうち、一般分が35人と福祉等の分野が5人です。今回の重点職種については、おおむね10人程度の枠を設けて、合計45人の枠を設けています。

A委員： 例えば、保育士の資格を取っても必ずしも保育士にならないといけないという決まりは誰にもありません。奨学金制度を受けることによって職種まで限定されるのでしょうか。

事務局： 大学を選ぶ際に、自分の将来の仕事を考えて進学されるかと思いますが、様々な事情があって卒業するときには、保育士にならないケースもあると思います。将来、市内で働くことを強要しているものではありません。重点職種の資格を持った人が米原市に増えて、地域に住んでいただきたいということを期待するものですので、免許を持っていることは要件にしておりません。

A委員： 給付を受けることは保育士等になることが絶対条件にあると、制度の趣旨が変わって人権問題にもつながるかと思われましたので意見しました。

C委員： 平成30年度から制度を運用されていますが、現在、短期大学や専門学校に通われた奨学生については、卒業して就職されているかと思えます。市内に定住されていることは調査されていますか。

事務局： 卒業後、6年間の定住を要件としておりますので、毎年、住民票など確認をさせていただくことは申請時に承諾を得ています。現在、全体で12人が給付を終え、うち1人が市外へ転出され、返還対象となっております。

C委員： 多くの方が希望を持って、市内に定住し、就職して、ふるさとを愛するという気持ちも出てくると思えますので、良い制度であると思えました。

A委員： 定住6年間は、卒業した直後の6年間ですか。例えば、1年目は市外へ転出

して、2年目以降に市内に戻ってきた場合などはどうなりますか。

事務局： 現在、そのようなケースはありませんが、イレギュラーな場合も規則に照らしながら、判断させていただきます。

A委員： しっかり定められていて納得して給付を受けておられたらいいかなと思います。

(2) 米原市給付型奨学金の募集について 【教育総務課】  
(内容)

令和4年度米原市給付型奨学金の募集については、12月1日から令和4年2月28日まで申請を受け付けています。申請書の設置場所は、教育総務課、山東支所、伊吹・近江市民自治センター、各行政サービスセンター、また、市公式ウェブサイトからもダウンロードが可能です。また、ウェブサイトでは所得基準の判定シミュレーションをしていただくことが可能です。

(3) 令和3年度米原市教育委員会学校訪問のまとめについて 【学校教育課】  
(内容)

令和3年度米原市教育委員会学校訪問のまとめについては、全体的に落ち着いた様子でした。また、今年度は教育長が打ち出されました「子どもたちが自分で掴む自分の未来」の取組について、全ての学校で構想を練られていて取組が始まっていることを確認することができました。今後、子どもの自己肯定感や自己有用感がどのような形で醸成されていくのか各学校でしっかり見守っていく必要があると思います。

学校によって多少の差はありますが、タブレットが本格的に活用できるようになって、授業において有効に活用されているという印象を受けました。様々な形で活用していくことが大切であると思いますが、今後は、デジタルとアナログのバランスや使用に当たっての必要なルールを決めるなど、何よりもICT機器に振り回されることなく、何をどのように学び、何ができるようになるのかを明確にした上で、ICTを有効活用した授業改正を進めていくことが大切であることが確認できました。

各校で様々な課題があり、先生方が奮闘されている姿が見られましたが、管理職が何のために何を重点的に取り組まれているのか明確なビジョンを示している学校は、学校として全教職員が目指すべきベクトルが合っていると思います。また、若手も含めてみんなが当事者意識を持って学び合える教職員集団に育てる印象を受けられたと思います。園から同一集団で育てている小規模校における取組や地域学校協働本部事業など地域との連携についてなど、多くの御意見をいただきました。学校や事務局は、皆様からいただいた貴重な御意見を基により良い学校を進めていきます。

(4) 後援等名義使用承認（後援・協賛）について

○「地方創生地域活性化プロジェクト」 【教育総務課】

第一弾 歌って！笑って！脳活で介護 予防レクリエーション！

「人生ミュージカル」～すぐに使える誰でもできるレクリエーションネタ満載

第二弾 ～世界にはばたけ！すご技続出！！パフォーマンスコンサート&ウルトラマントリガー

○仕事副読本「発見 たんけん 私たちの地域お仕事ブック」の作成・発行

【学校教育課】

○まいばらチャレンジカップ 2022（第 17 回米原市民スキー大会）

【スポーツ推進課】

7 質疑応答

特になし

8 その他

(1) 令和 4 年第 1 回定例教育委員会の開催について

日 時：令和 4 年 1 月 21 日（金）午後 3 時 30 分から

場 所：米原市役所 コンベンションホール

(2) 令和 4 年第 2 回定例教育委員会の開催について

日 時：令和 4 年 2 月 18 日（金）午後 3 時 30 分から

場 所：米原市役所 コンベンションホール

9 閉 会

以上をもって令和 3 年第 12 回定例教育委員会を午後 4 時 26 分に終了した。